

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	リーディング1	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	前期
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1 単位	授業形態	実技		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。講師持込資料等随時使用。				
担当教員情報					
担当教員	早川		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
プロの現場では読譜が出来るだけでは仕事の半分も適わず、その他たくさんの「現場必須項目」がある事を理解する。この授業では、一般的な読譜に加えプロならではの譜面の書き方はもちろんのこと、現場では当たり前の壁コンセントの極性とといった簡単なことから、アース（グラウンド）、ヘルツ、位相、信号の波形とノイズの関係（バランス、アンバランス）、各楽器の特徴及び簡単な扱い方、アマチュアの方が「やっぱりプロはすごい！」と憧れるような良い音の作り方までの習得を目的とする。					
到達目標					
いくら個人練習を積んで各パートのプレイテクニックが高くなろうとも、「プロ」の現場ではそれ以外に知っていなければならないこと、出来ていなければならないことが山ほどある。ただ弾けるだけでは不十分なので、次のような内容の習得を目標とする。1、読譜が出来る。2、ライブステージにおいて必要な電気知識を習得する事ができる。3、音は空気振動なので振動に関する周波数（ヘルツ）等の基礎知識を習得する事ができる。					
教育方法等					
授業概要	譜面が読めて普通にプレイ出来る…に留まらず、昨今のライブ、コンサート等で不可欠な「電気」についての基礎知識…家庭用コンセント1口には約100V/15Aという電気が来ていて…という初歩的なことから、これはあくまで「約100V」であって、周りの電気使用状況によってそれは変化し、場合によってはノイズというものを生み出す汚れを生じる…等を知り、お客さんがより満足して帰っていただけるように、一つでも邪魔な要素は排除し良い要素に変えていく感性を専門的に深く身につけていく。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動きや最先端技術等について概説するので、自分でも情報を収集し、知識の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	提出物	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表表 （口頭・実技）	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	五線譜（五線と加線）（1）		五線各部名称がわかる。壁コンセントをの形状、意味がわかる。		
2 回	五線譜（五線と加線）（2）		上下加線の名称、書き方がわかる。日本の電源事情がわかる。		
3 回	小節線		小節線の種類がわかる。アース（グラウンド）がわかる。		
4 回	音名		音名がわかる。交流/直流、ヘルツ等の初歩がわかる。		
5 回	音部記号（1）		ト音記号、ヘ音記号が正確に記譜できる。ドラムの特徴と各パーツ名称がわかる。（1）		
6 回	音部記号（2）		その他の音部記号の種類と意味がわかる。ドラムの特徴と各パーツ名称がわかる（2）		
7 回	大譜表		大譜表の譜面が書ける。ベースギターの特徴と各部名称がわかる。		
8 回	音符（1）		音符の種類と書き方がわかる。（1） ベースアンプの役割と各ツマミの働きがわかる。		
9 回	音符（2）		音符の種類と書き方がわかる。（2） ギターの特徴と各部名称がわかる。		
10 回	休符		休符の種類と書き方がわかる。ギターアンプの役割と各ツマミの働きがわかる。		
11 回	音符の見やすい書き方（1）		音符を見やすく書くことができる。（1） ギター用エフェクターの種類とその役割がわかる。		
12 回	音符の見やすい書き方（2）		音符を見やすく書くことができる。（2） キーボードの音色や特徴がわかる。		
13 回	小節と拍子（1）		小節と拍子の意味がわかる。（1） シールドケーブルを正しく接続できる。		
14 回	小節と拍子（2）		小節と拍子を正しく記譜できる。（2） ケーブルの「8の字巻き」ができる。		
15 回	まとめ		全体のまとめ		